

サービスマーケティングを振り返って

社会福祉学部社会福祉学科 2年 伊藤 沙樹

活動先：NPO 法人 もやい

クラス：村上 徹也 先生

1. 活動内容

私は、サービスマーケティング活動で NPO 法人もやいで活動をさせていただきました。

活動内容は、ふれあい昼食会・デイサービス・ヘルパー同行・個人企画・ガーゼ染め・夜空を見る会である。

2. 活動を通しての自分の成長と気づき

(1) 成長したこと

①自分で考え、行動すること

私は、自分で考え、行動することがあまり得意ではなかった。そのため、今回の活動を通して、まわりを見て自分が今何をすべきなのかを常に考え、行動するように心がけた。初めの頃は、考えても何をすればよいかかわからず、同じ活動先の学生の様子を見て同じように動くことが精一杯であった。しかし、もやいの活動ではひとりで活動を行うことが多かったため、徐々に何をすればよいかが見えるようになってきた。まだまだ、気づくことができていなかったことも多かったと思う。しかし、わからないときには何をすればよいかを自分から聞く、積極的な姿勢が大切である。活動を通してこれらの姿勢が身についたように思う。

(2) 気づいたこと

①自信を持つことの大切さ

今回の活動でよく指摘されたことが、「もっと自分に自信を持つこと」であった。私は、まわりをみることばかりを考えすぎて、できなかったことばかりに目を向けてしまっていた。自分に自信を持っていないと、自分というものがなくなってしまう。そうすると、まわりに流されるだけになってしまうのだということに気づくことができた。今後はこの気づきを生かし、自分に自信を持てるように努めたい。

②自分自身も楽しむという姿勢

個人企画では、ひとりで企画内容を考え、準備・進行を行った。当日の流れを想像することができず、当日にもやいのスタッフの方と言われて気づくことも多々あった。全体の流れとしては、時間通りに終わることができた点や、子どもたちに積極的に参加してもらえるような声掛けをおこなうことができた点などよかった点も多く、何より子どもたちが

とても楽しんでくれていた。私自身もとても楽しみながら行うことができ、その姿勢が大切だと学んだ。また、気づかなかったことを教えていただいた際、ひとりで完璧にしようとするだけがすべてではないのだと感じた。そのときに、助け合いの大切さに気づいた。

3. 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

サービスラーニング活動を通して見えてきたことは、地域とのつながりの重要性である。もやいでは、たくさんの地域の方々の協力のもと、日々の活動が行われていた。そしてもやいの活動は、地域の方々を支えており、助け合いなのだと感じる。

NPO というものをあまり知らない方からすると、もやいが怪しい団体なのではないかと勘違いする方もいるのだと、今回の活動で教えていただいた。理解していただくことは簡単なことではないが、これからも地域の方々に理解していただく努力を続けることで、より地域とのつながりを密接にしていくことがこれからの社会にとって大切だと考える。